

<今後の課題>

今後の更なる安全対策のためには、関係機関が適宜、専門家を交えながら、検討を行っていく必要のある事項等がある。

「鹿島港沖座礁事故を踏まえた現地連絡会議」においては以下のⅠ～Ⅳの対策の実施を提案する。

Ⅰ. 鹿島港気象・海象データ観測の充実

- ・従来の港外の波高観測に加え、港内における波高観測を実施。観測結果を避難勧告基準の精度の改善に反映させるとともに、港内静穏度向上方策の検討に活用。

関係部局 : 国土交通省鹿島港湾・空港整備事務所
 実施予定時期 : 平成19年度内に波高観測を開始

Ⅱ. 鹿島港港内及び周辺部における航行安全の検証等

- ・港内及び周辺部の航行安全に関するシミュレーションの実施と安全航行対策の検討を実施し、検討結果を基に避難勧告基準の精度の改善に反映させる。

関係部局 : 茨城県、鹿島海上保安署、国土交通省鹿島港湾・空港整備事務所、鹿島海事事務所
 実施予定時期 : 平成19年～平成20年度

Ⅲ. 便宜置籍船等の安全対策の推進

- ・昨年末、国土交通省海事局長から（社）日本船主協会に対し、安全管理体制の再構築など便宜置籍船等の安全対策の再点検を要請したところであり、本要請に基づく安全対策を推進する。

Ⅳ. 港湾施設整備の促進

- ・現在建設中の南防波堤等、港内静穏度の向上を図るための施設について、その早期整備を推進していく。